

英語を楽しく

No.161

☆ アメリカのこどもも日本のこどもも勉強で苦勞している。

アメリカのこども

1、アルファベット A・B・C…Zの発音を覚える。

ただし覚えたからと言って BOOK、BED、BAT の単語が読めるわけではないのですね。

理由 Bを[bi:]と発音しても、

BOOKは[buk]、BEDは[bed]、BATは[bæt]と発音するので、Bを[bi:]と発音すると覚えても、単語の中にあるBを[bi:]「B」の部分もBを[bi:]発音しないことが圧倒的に多いのです。

アメリカのこどもは、日本のこどもが漢字を覚えるように、単語の発音と綴りを1つ1つ覚えなければなりません。

にほんのこども

2、「上」を「うえ」、「下」を「した」、山を「やま」と読むのを覚えても、漢字が読めるとは限らないですね。

理由 「上手」を「うえて」でなく「じょうず」、

「下山」を「したやま」でなく「げさん」、

「山」を「さん」と読むことを覚えなければならないのである。

日本のこどもは漢字を1つ1つ覚えなければならないだけでなく、覚えた漢字でも読み方が異なることもあり、一つ一つ覚えなければならないのです。

両国のこどもは、一度自分が覚えた単語や漢字が、そのまま生かされないことを知り、学習する過程で母国語の正しい使い方を覚えていかなければならないということに気づきます。

アメリカの単語テスト

例えば、教師が、

T: “Tom, how do you spell apple?” と聞くと、それに対して、

児童が、

C: “ a-p-p-l-e.” と口頭で答え、テストがされます。

漢字は口頭テストはできませんので、紙に書いてテストをするのですね。